

プレーティ・ネギ（インド）



はじめまして。私はインド北部ヒマーチャル・プラデーシュ州にあるキンナウル出身のプレーティ・ネギです。災害管理に関する修士号と、地理学の学士号を取得しています。インドでは、災害管理の専門家として8年以上の経験を持ち、国や地域レベルにおいて、災害リスクの軽減、災害対応の調整、コミュニティの能力開発に関する活動に貢献してきました。

現在は、ヒマーチャル・プラデーシュ州マンディの地区災害管理局で研修・人材育成コーディネーターを務めています。ここでは、災害リスク軽減策に関する文書の立案と実施、コミュニティ意識向上プログラムや避難訓練の実施、革新的でコミュニティ中心の手法を通じた災害レジリエンス強化に関する取り組みを行っています。また、同州で災害が発生した際には、災害対応活動の調整役として重要な役割を果たし、現場レベルでの活動に従事してきました。

以前は、国立防災研究所の若手専門家として、2020年にインド全土で発生したCOVID-19の調査とデータ収集に貢献しました。この経験により、国家レベルでの災害管理や、複雑で大規模な緊急事態への対応について深い理解を得ることができました。

今回、アジア防災センター（ADRC）の客員研究員として、草の根レベルのレジリエンスを高めるためのコミュニティ主体の防災戦略の開発、費用対効果が高く地域に合わせた災害に強いインフラソリューションに関する考察、防災における日本の先進的な技術活用とイノベーションの理解などに焦点を当て、専門知識を広げることを目指しています。

多くの機会を得ることで、防災分野における優良事例を母国の災害管理の枠組みに統合することができると考えています。最終的な目標は、災害への備えを強化し、脆弱性を軽減し、インドの災害多発地域において、より安全で災害に強いコミュニティの構築に貢献することです。

改めまして、客員研究員プログラムに参加するという素晴らしい機会を与えてくださったADRC、インド政府、ヒマーチャル・プラデーシュ州政府に心から感謝します。